

なでしこ通信



令和5年10月10日発行

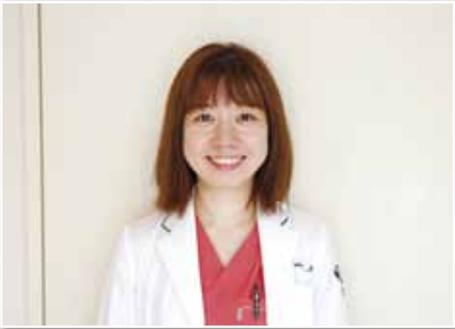
vol.187

三重県済生会明和病院 なでしこ 〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435

TEL・FAX : 0596-53-0010 Eメール : nadeshiko@meiwa-saiseikai.jp ※重症心身障害児(者)に特化しているため旧名称を記載しております

はじめまして

～ 紹介記事 ～



この度、7月から「なでしこ」に三重大より応援に来させていただくこととなりました武岡真美と申します。三重県内の小児科関連施設で研修した後、三重中央医療センターの新生児集中治療室(NICU)でしばらく勤務していました。現在は三重大

学の小児循環器チームで研究をしています。

各施設で入院中に診させていただいていた入所・通所利用者の方々に再会でき、成長した姿が見られて嬉しく思っております。「なでしこ」では、スタッフの皆さまが一体となって、利用者の方やそのご家族にあたかなご支援をされており、とても素敵に感じています。月2回の勤務ではありますが、入所中の方々や病院を退院した後に地域で過ごされる医療的ケアを必要

とするお子さんとご家族が、笑顔で充実した生活が過ごせるよう、私自身も勉強させていただきながら少しずつでもお力になればと思っています。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

(小児科医：武岡)



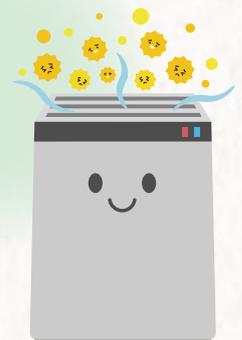
高性能の空気清浄機が届いています!

新型コロナウイルス対策は5類になっても必要です。なでしこでは日本財団の施設向けの補助事業に応募し、約460万円の補助金をいただいて高性能の空気清浄機を購入することができました。全国各地の病院や公共機関等で使われているトゥーコネクト社の高性能空気清浄機「Airdog」のX8Proを8台、X5Dを15台購入し、7月中旬に入所の各居室および入所と通所のフロア、リハビリスペース、

職員の休憩室に設置しました。なでしこの全館空調は設置後20年以上経ちしばしば不調になりますので、真夏に窓を全開にせずに安心して過ごせることは大変ありがたいです。とはいえ、今は第9波の真っ只中。いくら高性能でも過信せず、もちろん換気は継続し、マスクや手指消毒等の今までと同様の感染対策は続けています。ご家族の面会もまだフリーにはできませんが、これらの機材も利

用してなるべく利用者さんと触れ合っただけのように努めています。

(施設長：山川)



お楽しみ会



7月5日(水)、約3年半ぶりに利用者さん全員で『お楽しみ会行事』を実施しました。この

長い期間の間に新しい利用者さんも増え、総勢43名が参加し充実した時間を過ごすことが出来ました。

今回は未就学児の利用者さんも一緒に一体感を持って楽しめるよう、楽器や手拍子、足踏みでの振動をうまく利用した音楽活動を行いました。

まずは未就学児を対象とし、2つのチームに分かれて「もりのく

まさん」の歌を輪唱しました。歌を歌いはじめると、着ぐるみのくまさんが現れ…。そしてかわいいお嬢さんも現れ…。まさかのスペシャルゲスト登場に、びっくりした様子の利用者さんやリズムカルに手を振り出す利用者さんも見られました。その後は、手拍子と足踏みで『さんぽ』の歌を演奏しました。特に足踏みの振動では、開眼される利用者さんや身

体に力を入れて動かす利用者さんもみえ、利用者さんのたくさんの表現力に感動しました。やはり広いフロアでの行事は賑やかさも格別！ 今後も継続して実施したいですね。

(入所保育士：大杉)



夏遊び週間



通所では8月21日(月)から1週間、夏遊び週間が開催されました。今年は『キャンプファイヤーで夏を楽しむ』ことをテーマとし、焚火に見立てた物の周りでフォークダンス『オクラホマ・ミキサー』『マイムマイム』を踊りました。職員と一緒に音楽に合わせて車椅子ダンス!! 「懐かしい!!」と喜んでくれたり、だんだんテンポが速い曲になるとみなさん笑顔を見せてくれました。

お次は手作り花火・スイカ割りです。焚火で花火に点火し、キラキラの花火(キラキラモール)が出

てくるとビックリした表情の利用者さん。空気砲花火では、カウントダウンをすると目を細めながらも嬉しそうに見てくれる利用者さん、「もう1回」とたくさんリクエストしてくれる声も聞かれました。すいか割りでは、赤い大玉スイカ、黄色の小玉スイカを元気いっぱい棒で割ると、ニッコリ!!

気に入ってくれたようで棒を離せない利用者さんもみえました。

最後はプロジェクターで2023年の全国の花火大会(なにわ淀川花火大会、新潟長岡花火大会、山形酒田花火大会、秋田大曲花火大会、三重紀北燈籠祭)をみんなで楽しみました。なでしこに居ながら、全国各地の素

晴らしい花火大会が見られ、利用者さん、職員みんなで楽しむことが出来ました。新型コロナウイルスの影響で、いろんな制限のある生活、活動となっていました。その分、工夫次第でいろんな可能性が広がると感じました。「今日も楽しかったな」利用者さんも職員も、そう思える毎日になるよう、一日一日大切にしたいと思います。次の行事も楽しみにして下さいね。

(通所保育士：城山)



いつきのみや博物館で いろんな体験をしてきたよ



電車も見たよ



七夕の願い事を書きました



たくさんの
ガチャがあって
悩むな～？
これにしよう
かな～？

買い物楽しかった♪



明和のイオンへお買い物



このプリン美味しい



昔の人の香水の匂いも
体験してきました
どんな匂いかは、
ぜひ体験してみてください

所 ……「テイクアウトで美味しい&楽しい時間を」……………



8月31日(木)にテイクアウト活動を行いました。3号室の利用者さん対象に、伊勢市にある『ミルポワ』さんにご協力いただきました。

なでしこの利用者さんの食事形態は形のある普通食からミキサー食と様々で、普通食以外を食べている方は、外で買ってきた食事を再調理する必要があります。ですが、ミルポワさんではそれぞれの利用者さんに合った食事形態でお食事を用意していただき、なでしこで再調理せず、利用者さんに食

べてもらうことができました。

今回も、とっても美味しそうなおメニュー！ お食事が到着した瞬間からいい匂いが漂いました。利用者さんも、車椅子やクッションチェアから身を乗り出してお食事を眺め、「早く食べたい」という気持ちが伝わってきます。一口食べるたびに、「美味しいよ！」という表情で介助する職員の顔を見られる利用者さんや、冷製ポタージュを気に入って、上手に飲まれる利用者さんなど、皆さんとても満足そうな表情がみられ、楽しい時間となりました。

今回のお店のように、色々な食

事形態でお食事を提供してもらえることは、なでしこにとってもありがたいことです。今後もこの活動を続けて、たくさんの利用者さんに、『特別なランチの日』を楽しんでもらいたいです。

(入所保育士：大西)



所 ……スパタイム……………

～ 良い香りと音楽を楽しみながら～

今年のスパタイムは、月曜日と火曜日の午後の入浴時間を利用して、ゆったり楽しめる時間を確保して行いました。児童も含め、全員が体験できるようにと、夏休みである7月24日(月)～8月29日(火)の期間で行いました。

今回は、昨年同様にスパ専用のシャンプーとボディソープを準備

し、「日本」をテーマに、和太鼓・三味線・琴などを使った和楽器が、スピーカーから流れるなかで、ミスト浴をしながら、振動と音を楽しみました。手拍子する方や、笑顔をみせ、みなさん気持ちよさそうでした。

その後は、着衣室で、アロマの香りと、穏やかな音楽でリラック

ス時間！

いつもの入浴の時間の中で、少しだけでも違う非日常を味わって頂けたかなあと感じました。今年のスパタイムも無事に実施することが出来ました。

(入所保育士：田端)

南海トラフ地震。いつかは来るだろうと考えてはいるものの、時が経つにつれ、警戒や準備を忘れてしまう。他に楽しいコンテンツが世の中にはたくさんあるため、脳の端へと追いやってしまう。人間とはそんなものだ。

さて、本題に入るが、皆さんは考えたことがあるだろうか。被災したとき障がい者の人たちはどのような不便や不自由があるかを。自分の事で精一杯になると分かっているのに人の心配なんてしてられない。多くの人々がそう思っているだろう。私自身もその一人である。

例えば、聴覚が不自由で避難放送など聞こえない人がいる。どうするか、周囲の人が身振り手振りで示したり、「いざというときは窓を割って入ってきて」と前もって伝えている人もいた。視覚障がいであれば、避難所まで辿り着けるかどうかという問題や、多目的トイレが使えても施設ごとにボタンや手すりの位置が微妙に違うという指摘もある。肢体不自由な

方も前述同様、避難所への到達や介助者問題は浮上する。共通して言えることは、やはり「配慮」である。大げさに言えば、人と人が生きていくための重要な要素であり、人生の豊かさは「配慮」を基盤とした「コミュニケーション」で決まると確信している。どのような対策、施策をとるにもまず「傾聴」と「思考」が大前提であるだろう。

そして、福祉避難所。高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などの要配慮者が利用できるこの避難所はより多くあってほしい。記事によると伊勢市は市内7施設と協定を結んでおり、なかにはいつ災害が起きても対応できるように宿泊予約がない部屋も常に清掃しているとのこと。今後もこのような素晴らしい配慮ができる施設が増えてほしい。

話は逸れるが伝えたい。それは、自分の常識を他人に押し付けないことだ。「前からそうしているから、従いなさい」とか、「そんなこともできないの? 分からないの?」などは、押し付

けにも甚だしい。そんなのは思考停止同然であり、相手に対する思いやりは皆無だ。価値観は人の数だけ存在し、当然、自分の定規で相手は測れない。私たちは常に考え、他者を思いやる配慮を学ぶべきである。幸いにも私たちが働いている場所はそれを学べる、いや、学ばなければならない場所だ。

最後に、防災・減災には何をすれば良いのか。考えることが多いからといって投げ出さないことだ。要配慮者もそうでない人も誰も一人では生きていけない。自分の手の届くことを一つ一つ積み上げていくことが大切であると私は思う。

(介護福祉士：吉田)



毎月発行の「福祉ニュース」に掲載されている記事の中から一つ選び、その内容や感じた事をリレー形式で載せていきます。

看護師・介護士急募!!

令和5年12月26日(火)に見学会を予定しております。

詳細は、QRコードから済生会明和病院のホームページの採用情報をご覧ください。

一緒に働ける仲間をお待ちしております。



ご寄付をお願いいたします

当施設では、皆様からのご寄付を受け付けております。施設に賜りましたご寄付は当施設の利用者さんの日常がより充実したものになるよう職員一同大切に活用させていただきます。多くの皆様からのご支援を心よりお願い申し上げます。

※本誌に記入されている写真は本人又、家族の了承を得て使用しています。

※なでしこ通信の発行が、2ヶ月に1回でしたが次の号より、3ヶ月に1回の発行に変更させていただきます。次回発行日は、1月となります。